釧路
霧と夕日の
美術館

街歩き ART MAP

アートマップ

街歩きART MAPについて

釧路駅から幣舞橋（ぬさまいばし）を渡り、生涯学習センター周辺までの、隠れた美術作品をご紹介します。北大通には、釧路市の景観賞を受賞した建物やビルが多く建っており、北大通第一商店街の歩道では、オブジェを観ることができます。また、釧路川のリバーサイドにある釧路センチュリーキャッスルホテルは、この街出身の建築家「毛綱毅曠」の設計です。釧路市立博物館、湿原展望台など異彩を放つ建築物が多く、釧路をデザインした建築家ともいえるでしょう。

その他、数多くの実績を残す彫刻家やデザイナーの作品が設置されていますので、ぜひごゆっくりとご観覧ください。

MAPの使い方

❶ コースを選択

彫刻、オブジェ、建築をメインにした「パブリックアート」と、釧路の顔である水辺の生み出すアートを楽しめる「ウォーターフロント」の2つのコースからお好きな方を選ぶ。

❷ 時間を選択

それぞれに設定されているまち歩きコースを「1時間」、「2時間」から選択する。

❸ 出発

スタート地点からゴールまでを確認、マップを持って出発！休憩スポットの場所も忘れずに。

❹ 記録

それぞれのスポットで自分のお気に入りを撮影、ＳＮＳなどで友達に広めていきましょう！

※コース・時間は参考例です。ご自身の体調やスケジュールに合わせご活用ください。

釧路のアートスポット紹介

釧路市立美術館

阿寒国立公園の屈斜路湖を源流とした釧路川は、タンチョウの舞う釧路湿原をうるおし太平洋へと続きます。

道東の中核都市釧路市は、その流れがまさに太平洋へと注ぐところに開け、霧が街を包む春から夏、抜けるような空と幣舞橋に夕日が映える秋、氷に光り輝く冬など大自然に囲まれた豊かな表情を持つ北の街釧路として、全国にその存在を発信しています。

平成４年11月釧路川を眼下にし、市内を一望できる高台に生涯学習の拠点施設として釧路市生涯学習センター（まなぽっと幣舞）がオープンし、３階ではアートギャラリーが同時に活動を始めました。多くの優れた展覧会を開催し、市民にも親しまれてきたこの施設も平成12年４月に、より一層の飛躍を目指して「釧路市立美術館」と名称を変え、現在に至っています。

釧路市立美術館は大小２つの展示室を中心に高水準の展示機能を備え、国内外の優れた美術品を紹介する特別展や所蔵作品を中心とするコレクション展を活動の主体に据え、郷土で活躍する作家の作品や郷土にゆかりのある作品を収集・研究しています。また、ハイビジョンシアターでの作品の解説やセミナー、美術講習会など生涯学習センターの機能を活用した教育普及事業により、複合施設としての利点・特長を十分に活かしたものとなっています。

多様な時代の要請の中で、「釧路市立美術館」は風土に根ざし、市民と共に築き上げていく地域の美術館として活動し、心の潤いと豊かさを求めた生涯学習推進の要として機能しています。

釧路市立美術館
［所在地］〒085-0836 釧路市幣舞町４番28号
釧路市生涯学習センター３階
［TEL］0154-41-8181・42-6116（直通）
［e-mail］sh-artmuseum@city.kushiro.lg.jp
［HP］http://www.pekita.net/
［休館日］毎週月曜日・年末年始（12/30-1/5）・館内整理日
［開館時間］午前10時～午後５時
（夜間開館の場合、午後8時まで）

●徒歩の場合／JR釧路駅から徒歩20分（南へ約1.6km）
●タクシーご利用の場合／JR釧路駅からタクシーで約5分
●バス利用の場合／くしろバス停留所「釧路三愛会病院」下車徒歩１分
●釧路空港からバスご利用の場合／空港前停留所からバスで約45分、MOOバスターミナル下車徒歩５分
※地球環境保全のため、公共交通機関の利用にご協力下さい。

北海道立釧路芸術館

釧路・根室の地域と関連した絵画、版画、彫刻、写真等の作品を中心に収集、収蔵しています。釧路市中心部、釧路駅から徒歩 10 分のところに位置しており、中に足を踏み入れると展示室のほかに、200席のアートホール、美術・音楽を研究・体験ができるワークショップルーム、フリーアートルーム、また情報提供ルームや喫茶コーナーなど、充実した設備をそろえています。

所蔵品展（特別展示は別料金）
中学生以下無料　高校生・大学生200円　大人460円（平成 26 年４月１日～）

北海道立釧路芸術館
［所在地］〒085-0017 釧路市幸町４丁目１番５号
［TEL］0154-23-2381
［e-mail］post@kushiro-artmu.jp
［HP］http://www.kushiro-artmu.jp/
［休館日］月曜日（ただし、祝日の場合は翌日休）、展示替期間
［開館時間］午前９時30分から午後５時

●徒歩の場合／JR釧路駅より徒歩約15分（南へ約1.2km）
●バスご利用の場合／くしろバス：「十字街」「十字街７丁目」停留所下車徒歩３～５分
●釧路空港からバスご利用の場合／釧路空港より市内行き連絡バス約50分→「フィッシャーマンズワーフMOO」下車徒歩約２分
※来館者専用駐車場8台（満車の場合は釧路錦町駐車場をご利用いただき、当館受付に駐車券をご提示ください。ホールなどをご利用の場合は、２割引きです。）

ART MAP Public art

街の中にたたずむ、「絵になる」アート達。

景観賞受賞

景観賞とは…
釧路市の景観に配慮した個性的な街並みづくりを進めるため、景観の形成に貢献している建造物等や市民団体等を表彰するものです。

生涯学習センター（まなぽっと幣舞）
まなぽっと幣舞の愛称で知られる複合公共施設。釧路市立美術館やカフェテラス、展望室などを備えた釧路の文化拠点です。美術展示のみならず、展望室からの湿原まで続く眺めはまさに芸術。

景観賞受賞

南大通ギャラリー
建物前にある米坂ヒデノリ作の3体の像が評価され、第３回都市景観賞に輝きました。板理士の近藤氏が事務所として使用していましたが、移転の際にギャラリーとしてオープンしたスペースです。

景観賞受賞

釧路信用金庫南支店
木の温もりを感じさせる外壁や駐車場周りが評価され、第６回の都市景観賞を受賞しました。南大通の街並みに溶け込んだ景観は、地域の人々に思いやりをもたらすかのようです。

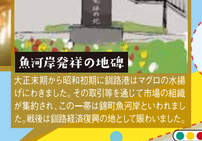
景観賞受賞

ANA クラウンプラザホテル釧路
個性豊かな建物が立ち並ぶ釧路のウォーターフロントにおいて、色彩やライトアップで港と調和したたずまいのホテル。周囲にも緑を配置し、ゆとりある観光エリアを演出しています。

景観賞受賞

北海道立釧路芸術館
前庭にはアルナルド・ポモドーロ作のモニュメント「球」が置かれています。釧路のウォーターフロントを彩る重要な建築物の一つです。

石川啄木像（本郷新）

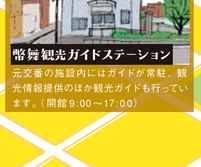


魚河岸発祥の地碑
大正末期から昭和初期に釧路港はマグロの水揚げにわきました。その取引等を通じて市場の組織が集約され、この一帯は錦町魚河岸といわれました。戦後は釧路経済復興の地として賑わいました。

花時計
全国的にも珍しい急傾斜地に設置された花時計は昭和55年から市民や観光客の目を楽しませています。季節に応じて年４回植え替えが行われます。

景観賞受賞

釧路センチュリーキャッスルホテル
第1回都市景観賞に輝いたセンチュリーキャッスルホテルも、実は毛綱毅曠の設計です。色彩やデザインに工夫が施され、シンボリックなリバーサイドの景観を演出しています。



幣舞観光ガイドステーション
元文番の施設内にはガイドが常駐、観光情報提供のほか観光ガイドも行っています。（開館9:00～17:00）

景観賞受賞

炉ばた煉瓦
遠目地元民のみならず観光客でも賑わう人気店も、都市景観賞を受賞したアートなスポットの一つ。木の温もりに釧路の程よいレトロ感がにじんでいます。

景観賞受賞

釧路信用組合本店
空を映す都会的なガラスの窓の数々、対照的に曲線を帯びた 輪郭が儚かしい時代を思い出させる外観。第9回の都市景観賞を受賞しました。

景観賞受賞

釧路市こども遊学館
基本設計から実施設計まで市民が参加したことが評価され、北海道建築賞を受賞しました。全面ガラス張りの外観は周囲の緑との対比も映え、未来を思わせるつくりです。

シビックコア中央広場
もとはJRの車輛所跡地だったスペースが都心部の憩いの場所として生まれ変わりました。ポルトガルの芸術家ジョセ・ド・ギマラインシュが設計したカラフルでポップなオブジェは明るい気持ちにさせてくれます。

幸町公園のSL機関車
鉄道公園とも言われ、蒸気機関車の向きを変える「転車台」がありました。現在、昭和天皇の行幸の御召列車を牽引したSL・C58機関車が展示され、北海道鉄道記念塔があります。

景観賞受賞

NCくしろ
平成 22 年に改装され、旧店舗の形状を活かしながら巧みに「再生」し、モダンな外観に生まれ変わりました。落ち着いた色調と洗練されたデザインが、北大通の中でも一際目を引きます。

北海道鉄道記念塔
大正５年に北海道の鉄道経延長が千マイル（1,600km）に達したのを記念して、道庁の初代鉄道部長田辺朔郎博士が釧路を建立地に選び、昭和2年に春採公園に建てられました。その後、釧路駅前広場横に移り、昭和 47年に現在地に移されました。

北大通オブジェ紹介

地図番号❶ 光る風
澄川 喜一
釧路駅を出た私たちを出迎えてくれる、丹頂鶴を模した装飾は、風向きによって羽ばたきを変えます。太陽の光を受け輝くボールが開放的な釧路の駅前の空を演出します。

地図番号❷ 未来
イメージデザイン／足立 剛也　制作／中江 紀洋
制作者は造形作家として活躍する、釧路市出身・在住の中江紀洋氏。北大通５丁目、中山茶紙店さん前でご覧になれます。

地図番号❸ 湿原
池田 譲
北大通に面するビルが直線を描く中、フリーハンドで描いたような曲線が目を引く作品です。湿原と題されたこの作品は、湿原を蛇行する川など水を彷彿とさせる形をしています。

地図番号❹ 地球
中川 伸一
実際に地球儀のように回すことのできるオブジェです。北大通５丁目を彩る顔の一つ。あなたは地球儀上で釧路の場所を指させるでしょうか。

地図番号❺ 川
浅井 憲一
都市景観賞を受賞した8基（①と⑦を除く）の野外彫刻の中でも、ひときわユニークな形をしています。水辺の街釧路の川を表現した存在感のある作品です。

地図番号❻ 希望
イメージデザイン／稲垣宏治、稲垣美穂　制作 中江 紀洋
この作品と「未来」は、釧路市内の小学生からイメージデザインを公募し、中江紀洋氏が制作したものです。羽を伸ばした丹頂鶴のようにも見え、希望に満ちたイメージが湧いてきます。

地図番号❼ つるつる小僧
松本 純一
ホテルラビスタ釧路川の足湯のそばで見つけたかわいらしい石像。ユーモラスな表情で、訪れる人々を見守ってくれているかのようです。

地図番号❽ 海
染谷 昭司
釧路を代表する産業である漁業を育んできた太平洋の様に、静かで雄大な広がりを感じさせるオブジェです。揺れる波やきらめく飛沫を切り取ったような情景が街の中に現れます。

地図番号❾ 人間
加納 秀美
北大通２丁目、石井米穀店の前に現れる少女の彫刻。さわやかな釧路の空に広がるこの作品が奏でる笛の音を、あなたも芸術の目で聴いてみませんか。

地図番号❿ 湿原
畑江俊明
釧路湿原に力強く生える植物たちの息吹がきらめいている様を感じさせる作品です。色々な素材で構成されたこの作品は、釧路湿原の生物多様性を表しているかのようです。

釧路ゆかりの建築家・画家

毛綱毅曠（もつなきこう）（1941.11.14 - 2001.9.2）

建築家・毛綱毅曠は釧路市で生まれ、高校卒業までを釧路で過ごしました。1984年に日本建築学会賞を受賞した釧路市立博物館をはじめ、処女作である「反住器」やフィッシャーマンズワーフMOO、釧路センチュリーキャッスルホテル、釧路市湿原展望台、ふくしま医院など、市内に作品が点在しています。独特の建築手法の作品は、どれもが観るものを圧倒します。

増田誠（ますだまこと）（1920.5.24-1989.4.9）

山梨県に生まれた増田誠は、戦後の1950年から釧路に居住し、工芸広告美術を生業としながら創作活動を続けた洋画家です。57年には釧路経済界の後押しもあって渡欧を果たしました。以後30余年にわたってパリを拠点に活躍。フランス各地の街並みや港の風景、市井の人々などを軽妙洒脱、詩情豊かに描き、人間味あふれる独自の絵画世界を築き上げました。

Public art コース

・パブリックアートコース

その存在感にひそむものは。
今、ここにある釧路の色。

1時間コース 参考ルート

2時間コース 参考ルート

歩道デザインブロックに注目！

歩道デザインブロック設置エリア

釧路市の明治時代末の出来事や、当時の暮らし、建築物などが黒御影石に刻まれ「くしろ歴史の散歩道」に配置されています。歴史性を活かした散歩道を整備し、まちづくりを行った事業です。

地図中に点在する、歩道に埋められたデザインブロックを探してみましょう。見つけたブロックにはチェックをつけましょう。

39あるデザインブロックの中から29を掲載しています。

☐ 小鰊大漁

☐ 入舟帰帆

☐ 川崎船

☐ 水処釧路

☐ 釧路港修築

☐ 錦町岸壁

☐ 鯖漁掻籃

☐ 旧釧路新聞社

☐ 拓銀釧路支店

☐ 釧路公会堂

☐ 二代目幣舞橋

☐ 釧路水産製造所

☐ 近江屋旅館

☐ 自転車

☐ 啄木来釧

☐ ゲロリ(ゲタ)スケート

☐ 雪遊び

☐ 舟見やぐら

☐ 路上の遊び

☐ 大福帳と五玉のそろばん

☐ 人力車

☐ 啄木の下宿

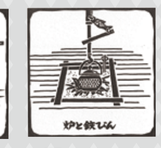
☐ ランプと笠つき電灯

☐ 石炭ストーブ

☐ 自動車

☐ 馬車運搬

☐ 竿はかり



☐ 炉と鉄びん

☐ 電話機

ART MAP
Waterfront

釧路の顔「水辺」がアートになる瞬間。

世界を旅する船乗りが認めた「世界三大夕日」

世界三大夕日は、釧路とバリ島（インドネシア）、マニラ（フィリピン）と言われていますが、その由来は、世界中を航海する船乗りたちが言い出したものとされています。世界中を回り、多くの夕日を見た船乗りだからこそ、釧路の夕日の素晴らしさを賞賛し、「世界三大夕日」の一つとして認めたのでしょう。

地元カメラマンおすすめ夕日撮影スポット

1 港沿岸のラインや漁船のシルエットが印象的。（時期：秋～春）

2 「春」の像とMOOが夕日に映える。（時期：春～秋）

3 幣舞橋とMOOがおさまる定番スポット（時期：春～秋）

4 展望台から釧路港を見下ろす広大なアングル（時期：オールシーズン）

5 街並みを照らす夕日と海原の遠景を切り取る。（時期：春～秋）

毎月1日の日没時刻（めやす）

1月1日	15:58	7月1日	19:06
2月1日	16:34	8月1日	18:44
3月1日	17:11	9月1日	17:58
4月1日	17:48	10月1日	17:05
5月1日	18:23	11月1日	16:16
6月1日	18:54	12月1日	15:49

生涯学習センター（まなぼっと幣舞）
まなぼっと幣舞の愛称で知られる複合公共施設。釧路市立美術館やカフェテラス、展望室などを備えた釧路の文化拠点です。美術展示のみならず、展望室から阿寒の山まで続く眺めはまさに芸術。

嵯峨 久吾翁像
嵯峨久は、釧路の漁船がまだ動力化されていない明治から大正にかけて発動機漁船を建造して沖合漁業に進出。共同市場や漁港をつくるなど幅広い活動を行い、釧路漁業界の父といわれました。丘の上から双眼鏡を片手に海を見つめています。

遠り火 / 防雪林 / 母と子
いずれも米坂ヒデノリ作。喜びや悲しみ、人の心の奥底にある複雑な感情を表現し、北海道の風土を表した独特な印象を与えています。

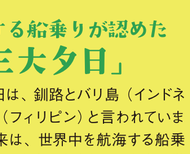
この先に啄木歌碑は25番まで続きます。

幣舞橋風景　小川原 脩
1957年 73.0×91.0 油彩・キャンバス
珍しい風景画の本作は、人の往来で活気あふれる幣舞橋を、上から眺めた構図で描き出しています。

晴日　国井 澄
1956年 26.8×40.6 油彩・キャンバス
太い輪郭線は漁船が川岸に隙間なく整然と並ぶ様子を強調しています。大きな親柱の立つ右手の橋は4代目幣舞橋（現在は5代目）。橋の上もにぎわっています。

入り陽　望月 正男
1973年 130.9×194.0 油彩・キャンバス
釧路川河口に停泊する漁船を描いたものです。冬の海に通い、実際に漁船に乗せてもらうなど、取材を重ねて制作したといいます。

フィッシャーマンズワーフMOO・EGG
幣舞橋に隣接するウォーターフロントを賑わす建物です。施設内には港町ならではの新鮮な魚介類、野菜や乳製品が並び、地元食材を使ったレストランや地元スイーツの物産など総合観光複合施設となっており、たくさんの観光客が訪れています。



嵐をさけて（釧路河口）　小林 一雄
1988年 130.3×162.1 油彩・キャンバス
嵐をさけて釧路川に停留する船。明るい色彩が、密集している船団の迫力を感じさせます。

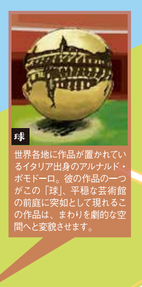
港文館
旧釧路新聞社の社屋を、休憩所として復元した施設です。釧路を訪れた石川啄木が勤めていた当時の趣を残しており、玄関の外には彼の銅像も。啄木にちなんだ様々なイベントも実施されています。

大型旅客船サンプリンセス

旅客船ターミナル

出航
釧路港開港100年を記念し、制作されたモニュメントです。空に向かって伸びていく様は、これまでの歴史とこれからの発展を想起させ、港湾の文化価値を高めています。

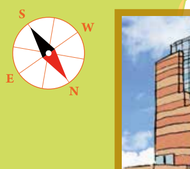
釧路の朝
モニュメンタルな作品を全国に数多く設置し、生命にあふれた作風で知られる本間新。観光国際交流センター前のこの作品は、生前よくモチーフとして使用されたバリエーションの一つです。



球
世界各地に作品が置かれているイタリア出身のアルナルド・ポモドーロ。彼の作品の一つがこの「球」。平穏な芸術館の前庭に突如として現れるこの作品は、まわりを劇的な空間へと変貌させます。

松浦武四郎事蹟碑像
北海道各地の地名の名付け親、松浦武四郎。探検記を片手にアイヌの案内人とともに阿寒を望み、市内を展望しています。中野五一作

地殻交信機
釧路在住の彫刻家、中江紀洋作。千のろうそくで祖先を祀る「くしろ千燈祭」の10回目を記念し1984年に設置されました。先人と現代に生きる私たちをつなぐイメージで制作されました。



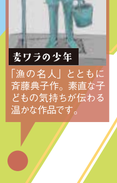
氷雪の河　阿部 貞夫
1958年 73.0×103.0 木版・紙
氷を押し退けて進んでいく材木船。釧路川を覆いつくす薄氷と薄桃色の空が、冬の厳しい寒さを感じさせます。

幣舞橋河畔　金丸 直衛
1958 年 34.9×45.3 油彩・キャンバス
川に浮かぶ船の赤を際立たせ、明るい空を背景に、人と船が集った幣舞橋の風景を描き出しています。

曙光　羽山 雅愉
2000年 130.3×194.0 油彩・キャンバス
丁寧に塗り重ねられた色彩には、夜明けの柔らかな光があふれています。

橋（釧路）　高畠 達四郎
制作年不詳 65.3×80.2 油彩・キャンバス
たくさんの人々が行き交う橋、その向こうに大漁旗がはためく漁船が隙間なく並んでいます。オレンジ色の夕陽を背景に、船と人々が行き交う活気溢れる漁港の様子が表現されています。

夕陽のぬさまい橋　大本 靖
制作年不詳 30.7×24.8 木版・紙
本作では、釧路での落日の光景を多色木版で描いています。優しい彫り跡と微妙な色合いで、川面に浮かぶ氷の一つ一つまで、丹念に描き出しています。



麦ワラの少年
「漁の名人」とともに斉藤典子作。素直な子どもの気持ちが伝わる温かな作品です。

バードウォッチング
繁華街末広のはずれに現れる女性の像です。特徴的なのは、台座がなく道行く人たちと同じ目線で普通に歩いているかのように鎮座してしまいます。あなたにも彼女が探している鳥が見えますか？

漁の名人
長靴をはいた男の子の像。大人が行きかう歓楽街の中で、かわいい子供が自慢の魚介をすする面白い切り口の構図です。

少女とキタキツネ
「親子」「漁師」「バードウォッチング」と同じ緑村登也作。やさしさあふれる動物とのふれあいが見る人を笑顔にさせます。

漁師
これぞ釧路！と言わんばかりの豪快な漁師を表した作品です。今晩の居酒屋で出てくるお刺身は、もしかしたらこの漁師さんが獲ったものがもしれません。

親子
百貨店があったころの釧路を思い出させる風景になっています。手を引く母親に反抗し、納得いかない様子の男の子。ほほえましい日常がアートになりました。

ペキタ・コペキタ・キリタ
2003 年、釧路の岸壁で遊んでいるところを、美術館の学芸員が発見。サンマをあげたらそのまま美術館についてきて、住みついてしまった謎の生き物。友達「コペキタ」「キリタ」と一緒に美術館で３匹、仲良く暮らしています。

春夏秋冬のアートを観る

これまでたくさんの作家が、釧路の風景を絵画として残しています。実際に作品のモチーフとなった 1 ～ 9 の場所を見てみましょう。

釧路のアートはおまかせなのだ！

Waterfront コース ・ウォーターフロントコース

カモメと潮風の運ぶ芸術のかおりを感じて。ウォーターアートを楽しみながら散策してみましょう。

1時間コース 参考ルート

START! まなぼっと幣舞

→ 釧路センチュリーキャッスルホテル

→ 南大通ギャラリー

→ 幣舞橋（四季の像は必見！）

GOAL! フィッシャーマンズワーフMOO・EGG

2時間コース 参考ルート

START! まなぼっと幣舞

→ 南大通ギャラリー

→ フィッシャーマンズワーフMOO・EGG

釧路センチュリーキャッスルホテル
釧路を代表する建築家の独特な設計に触れてみてください。

→ 幣舞橋

日没時間に合わせて夕陽を見るのもgood！

→ 観光国際交流センター

→ ANAクラウンプラザホテル釧路

→ 炉ばた煉瓦

→ 幣舞橋

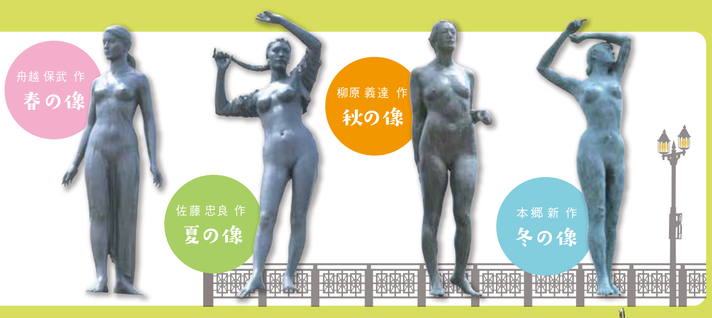
START! まなぼっと幣舞

GOAL! 旅客船ターミナル
運がよければ大型旅客船が入港していることも♪

→ 北海道立釧路芸術館　水と緑に囲まれたアート空間です。

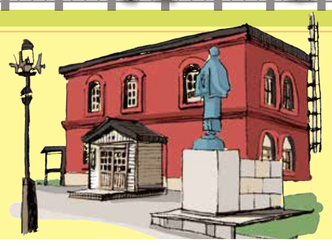
幣舞橋を彩る四季の像

幣舞橋の歴史は、1889年に当時全道一長い木橋として架けられ（当時は愛北橋と呼ばれていた）、その後 1900 年に国の事業によって初代の幣舞橋が誕生し、北海道三大名橋と言われた4代目のデザインを引き継いだ現在の橋は５代目として1976年に建設されました。エキゾチックな香りの「四季の像」と太平洋を背景に紅に染まる夕日と相まって釧路の観光名所となっています。
※5代目幣舞橋の欄干のキンレンカレリーフは、米坂ヒデノリ氏のデザイン。



天才歌人 石川啄木の歌をめぐる

石川啄木は明治41年1月21日に釧路に降り立ち、同年４月5日に釧路を発ちました。わずか76日間という短い滞在でしたが、その間に啄木は釧路に数々の作品を残しました。啄木の勤務先・旧釧路新聞社を復元した港文館では啄木の歩み・息吹を感じられることでしょう。また、釧路の市街地にはたくさんの啄木歌碑が建立されています。啄木の詩集片手に、至高の文学散策はいかがですか。地図中のA からI は、啄木歌碑の位置を示しています。



「本郷 新」作

地図番号 A　釧路停車場跡 釧路市交流プラザさいわい前

地図番号 B　南大通二丁目

地図番号 C　小奴碑

地図番号 D　旧釧路新聞社跡

地図番号 E　港文館前

地図番号 F　南大通四丁目（釧路信金南支店前）

地図番号 G　南大通四丁目

地図番号 H　啄木下宿跡

地図番号 I　啄木ゆめ公園

地図の先には25番まで、啄木歌碑が点在しています。観光施設で入手できる、啄木歌碑マップをご利用ください。

釧路の碑

釧路には多くの碑（文学碑・音楽碑など）が建立されています。幣舞橋のたもとには、釧路沖地震（1993年）で被害を受けた釧路市民の激励のために建てられた美川憲一さんの「釧路の夜」の歌碑があり、橋をはさんだ向かいの EGG 前には水森かおりさんの「釧路湿原」の歌碑が建っています。また、釧路市街地を見下ろす高台、幣舞公園には釧路市出身の原田康子さんの「挽歌」の文学碑が建っています。ご当地ソングや釧路文学の世界に浸ってみるのもまた旅の魅力のひとつではないでしょうか。

地図番号 J　水森 かおり「釧路湿原」

地図番号 K　美川 憲一「釧路の夜」の碑

地図番号 L　原田 康子「挽歌」の碑

釧路市民憲章

（平成18年10月11日制定）

☆前文
わたしたちは、広野に丹頂が舞い、夕焼けが太平洋を染める 釧路の市民です。
わたしたちは、先人の開拓精神をうけつぎ、生産都市を誇りとして、健康で明るく、豊かで文化の香り高いまちを築くために、この憲章を定めます。
きょうを充実させ、あすを発展させるために。

☆本文
一、元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう
一、きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう
一、緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう
一、人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう
一、文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう
一、郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう

釧路をデザインした毛綱建築

（詳しい説明は表面へ）

NTT DoCoMoビル
中心市街地の北大通にあって斬新で印象的な外観であり、時間とともに街並みと調和した景観をつくり出しています。（都市景観賞に輝きました）
所在地／釧路市北大通10-1
☎0154-25-6800

北海道釧路湖陵高等学校同窓会館
毛綱の母校、湖陵高校の同窓会館。建物は赤と白のコントラストを基調とした、ノアの方舟をテーマに設計された完成度の高い作品です。
所在地／釧路市緑ケ岡3-1-31
☎0154-43-3131

釧路市立博物館
「記憶の建築にふさわしい」と作者自身が語る、活躍のきっかけとなった建築物。館内の二重螺旋の階段が、遺伝子を象徴します。日本建築学会賞を受賞しました。
所在地／釧路市春湖台1-7 ☎0154-41-5809
開館／9:30～17:00 ※入館は16:30まで
休館／月曜日

釧路市湿原展望台
湿原に群生する「やちぼうず」をモチーフにした外観と、母親の胎内をイメージした中央展示室。湿原の風景と、建物の両方を楽しむことができます。
所在地／釧路市北斗5-11 ☎0154-56-2424
開館／8:30～18:00（ 5月1日～10月31日）
9:00～17:00（11月1日～ 4月30日）
※入館は閉館前の30分前まで
休館／年末年始

幻の毛綱建築（陰陽の間）
市内浦見にあった知る人ぞ知る住宅。
※現存していません（1980年～2005年）
毛綱毅曠が個人宅として設計。円柱状の外観の内部には、独特の螺旋構造が組み合わされていました。（反住器と並ぶ初期の作品）

反住器
31歳の時に母親のために建てた住宅です。入れ子状に組み立てられたこの家は、「機能」に対する「反機能」を表現しようとしたもの。彼の初期の代表作です。
所在地／釧路市富士見1-5-1
※一般住宅のため外観のみの鑑賞

釧路市立幣舞中学校（旧釧路市立東中学校）
博物館とあわせ、毛綱建築の代表作と呼べる作品。上部の大きなアーチなど、彼の個性がいかんなく発揮された見どころある建築物です。
所在地／釧路市春湖台1-3 ☎0154-41-3591
※内部の観覧は職員室で受付。
学校の授業や行事により観覧できない場合もあります。

釧路センチュリーキャッスルホテル
フィッシャーマンズワーフ MOO の対になるような形で釧路川を挟んで建つシティホテルです。リバーサイドに新たな景観を生み出し、魅力的にしています。
所在地／釧路市大川町2-5 ☎0154-43-2111
※内部の観覧はロビーまで。

フィッシャーマンズワーフMOO
北海道三大名橋と呼ばれる幣舞橋のたもとにある釧路のランドマーク的存在。グルメ、ショッピング、レジャーを目的とした都市型観光施設。（釧路市都市景観賞に輝きました。）
所在地／釧路市錦町2-4 ☎0154-23-0600
開館／1階通常 10:00～19:00、
2階通常 11:00～22:00
休館／元日

ふくしま医院
釧路市内では最後の毛綱作品となった建物。たまご型の院長室、ガラス張りの階段の他、広い吹き抜けの待合室は市民の文化活動発表の場になっています。
所在地／釧路市浦見4-2-2 ☎0154-41-8666
※内部の鑑賞も可能です。

おなかがすいたらひと休み どうですか？ 釧路の三大麺文化

ラーメン
カツオや昆布ダシをベースとし澄んだあっさりスープに合う日本一細いといわれる「極細の縮れ麺」が特徴のラーメン。

蕎麦
東家をはじめ釧路の蕎麦の特長は緑色の麺。「蕎麦寿司」や「かしわぬき」など釧路ならではのメニューも楽しめる。

スパかつ
スパゲティミートカツのこと。熱々の鉄皿に乗ったスパゲティは釧路市民のソウルフードという人もいる。